

会長挨拶

全日本中学校長会会長 伊藤俊典



本日、第六七回全日本中学校長会総会の開催にあたり、文部科学大臣 馳 浩様をはじめ、多くの御来賓の皆様のお臨席を賜りましたことに、心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

全国から御参会の会員の皆様、新学期が始まってから二か月近くが経ったところですが、全日中は、この総会をもって平成二十八年年度の諸活動が実質的に始まりです。是非、全国の中学校教育の充実・発展に向け、力を合わせて頑張ってくださいと存じますので、御理解と御協力をお願いしたいと思います。

ところで、四月には熊本県において最大震度七が二回観測された地震が発生し、その後も規模の大きな地震が相次いで発生いたしました。亡くなられた方々へは衷心からお悔やみを申し上げます。また、現在も避難生活を送っている多くの被災者の皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く復旧・復興が実現できますことを祈念いたします。地震や被害の大きさを考えて、全日本中学校長会といたしまして、熊本県中学校長会に対しましてお見舞いをさせていただきました。余震が続く状況を大変心配しておりますが、今後も現地からの情報を収集し、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

さて、昨年度の全日中の取組について、要点をお話しし、開会の挨拶に代えさせていただきますと存じます。一点目は、各地区校長会・研究大会及び全日中研究協議会についてです。

六月から九月にかけて、各地区の研究協議会が開催され、いずれの地区においても大変熱心な研究協議がありました。また、十月には、福岡県福岡市において第六六回全日本中学校長会研究協議会福岡大会が開催され、全国から多くの会員の皆様に参加していただき、充実した大会となりました。本大会から研究協議会主題が変わり、「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り拓く日本人を育てる中学校教育」となりましたが、各地区の研究大会においても新たな研究主題に取り組んでいただきました。

二点目は、全日中教育ビジョンの推進と再改訂についてです。

全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」の推進を一層図るため、毎回の理事会において、教育ビジョンに示した「10の提言」をもとに、各地区の学校や校長会における取組、それらに対する成果と課題等の情報交換と意見交換を行いました。

さらに、平成二十七年度は、全日中教育ビジョンが改訂されてから三年目を迎え、変化の激しい時代の新たな課題や教育の動向を踏まえ、二回目の改訂を行い、全国の会員の皆様に送付をさせていただきました。今後は、新たに改訂しました全日中教育ビジョンを基にして、「有言実行」の行動理念の下に学校からの教育改革を自ら考え進める全日中として、10の提言を中心として、全国の会員の皆様方と推進してまいりたいと考えております。

三点目は東日本大震災支援委員会の活動です。昨年七月の第二回理事会において、岩手・宮城・福島からの現状と課題について報告をいただきました。また、八月に三県を訪問し、各県校長会の皆様と意見交換をさせていただきました。福島県では、震災により避難をして開校している中学校の現状も視察させていただきました。その結果、三県の中学校の現状や取組の具体例を全日中のホームページに掲載し、全国の中学校の防災教育の推進に役立てていただくとともに、東日本大震災の風化を防ぎたいと考えています。

今後も引き続き、東日本大震災支援委員会の活動は継続してまいりますので、よろしくお願いいたします。

四点目は関係会合等の見直しです。平成二十八年度以降の関係会合等の見直しを推進し、理事会の承認を得て、年

四回実施していた常任理事会・理事会を年三回実施としました。

以上をもちまして開会の挨拶といたします。